

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 26 日(2025.2.26)

【公開番号】特開 2023-121111(P2023-121111A)
【公開日】令和 5 年 8 月 30 日(2023.8.30)
【年通号数】公開公報(特許)2023-163
【出願番号】特願 2022-130384(P2022-130384)
【国際特許分類】
G 0 6 Q 5 0 / 1 0 (2 0 1 2 . 0 1)
【 F I 】
G 0 6 Q 5 0 / 1 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 2 月 14 日(2025.2.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

事業者がエネルギーを購入することで間接的に排出された G H G 排出量を示す間接排出量に含まれない事業者の活動により排出された G H G 排出量を示す他の間接排出量の導出対象である活動内容及び活動内容ごとの活動量を示す第 1 活動量データを取得する取得部と

、新たな活動量データの種別に対応する既存の排出原単位フォーマットから、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対応する、他の間接排出量に関する少なくとも 1 つのカテゴリ及び少なくとも 1 つの排出原単位の少なくとも 1 つのセットを抽出する抽出部と、

30

前記少なくとも 1 つのセットの中から、ユーザの指示に応じて、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対する 1 つのセットをそれぞれ特定することで、新たな活動量データに対する新たな排出原単位フォーマットを生成する生成部と、
前記新たな排出原単位フォーマットに基づいて、前記第 1 活動量データに示される活動内容ごとに、少なくとも 1 つの排出原単位を決定する決定部と、

前記少なくとも 1 つの排出原単位に基づいて、前記第 1 活動量データに示される活動内容ごとの活動量のそれぞれについて、G H G 排出量を導出する導出部と
を備える G H G 排出量導出装置であって、

前記抽出部は、既存の排出原単位フォーマットから特定される、活動量データの種別及び活動内容と、他の間接排出量に関する少なくとも 1 つのカテゴリ及び少なくとも 1 つの排出原単位との組合せを教師データとして機械学習させた学習モデルに従って、信頼度が高い順に予め定められた数のセットを、前記少なくとも 1 つのセットとして抽出する
G H G 排出量導出装置。

40

【請求項 2】

前記活動量データの種別は、活動量データの作成に用いられたアプリケーションの種別に対応する、請求項 1 に記載の G H G 排出量導出装置。

【請求項 3】

前記活動量データの種別は、活動主体の業種にさらに対応する、請求項 2 に記載の G H G 排出量導出装置。

【請求項 4】

50

前記活動内容は、活動に関わる業者に関する業者情報を含む、請求項 1 から 3 の何れか 1 つに記載の G H G 排出量導出装置。

【請求項 5】

前記活動内容は、活動に関わる場所に関する地点情報を含む、請求項 1 から 4 の何れか 1 つに記載の G H G 排出量導出装置。

【請求項 6】

事業者がエネルギーを購入することで間接的に排出された G H G 排出量を示す間接排出量に含まれない事業者の活動により排出された G H G 排出量を示す他の間接排出量の導出対象である活動内容及び活動内容ごとの活動量を示す第 1 活動量データを取得する段階と、
新たな活動量データの種別に対応する既存の排出原単位フォーマットから、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対応する、他の間接排出量に関する少なくとも 1 つのカテゴリ及び少なくとも 1 つの排出原単位の少なくとも 1 つのセットを抽出する段階と、

10

前記少なくとも 1 つのセットの中から、ユーザの指示に応じて、前記新たな活動量データに示されるそれぞれの活動内容に対する 1 つのセットをそれぞれ特定することで、新たな活動量データに対する新たな排出原単位フォーマットを生成する生成部と、

前記新たな排出原単位フォーマットに基づいて、前記第 1 活動量データに示される活動内容ごとに、少なくとも 1 つの排出原単位を決定する段階と、

前記少なくとも 1 つの排出原単位に基づいて、前記第 1 活動量データに示される活動内容ごとの活動量のそれぞれについて、G H G 排出量を導出する段階と

20

を備える G H G 排出量導出方法であって、

前記抽出する段階は、既存の排出原単位フォーマットから特定される、活動量データの種別及び活動内容と、他の間接排出量に関する少なくとも 1 つのカテゴリ及び少なくとも 1 つの排出原単位との組合せを教師データとして機械学習させた学習モデルに従って、信頼度が高い順に予め定められた数のセットを、前記少なくとも 1 つのセットとして抽出する

G H G 排出量導出方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 5 の何れか 1 つに記載の G H G 排出量導出装置としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

30

40

50